

事務事業コード	764117	事務事業名	街なみ環境整備事業(牧園・高千穂地区)	担当部	建設部
				担当課	都市計画課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	都市整備グループ
施策名	1	生活基盤の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	5	景観の保全と整備		内線番号	2881
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 8 年度 ~ 平成 25 年度
	款	8	土木費		
	項	5	都市計画費	根拠法令・条例等	霧島市まちづくり要綱
	目	1	都市計画総務費		
コード	764117				
関連計画	高千穂地区街なみ環境整備事業整備方針、高千穂地区街なみ環境整備事業 事業計画				

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
鹿児島県の「霧島国際芸術の森」基本構想に基づく、高千穂地区の国道223号道路拡幅改修事業の着手をきっかけに、歴史的建造物の適正な管理や活用、公共施設の整備、住宅の修景整備等を行い、地域の特性を活かした魅力ある街なみ整備を行う。	事業を行うに当たり、地元説明会を開催。地元からの要望は、整備後の維持管理について地元負担の軽減を強く要望されている。	特になし。

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 牧園町高千穂地区	良好な街なみが形成される	歴史的な景観や自然景観が守られる
イ		地域にあった景観が創られる

全体計画 (H8 ~ H25)	平成23年度までの実施状況	平成24年度実績	平成25年度計画
<ul style="list-style-type: none"> 丸尾地区ポケットパーク整備 2ヶ所 約1,100㎡ 屋外消火栓設置 4箇所 通路整備 丸尾地区 約100m 街路灯整備 166基 道路美装化 市道2路線約1,080m ごみ置き場 3箇所 住宅等修景 41戸 	事業計画の策定 事業計画の見直し ポケットパーク整備 街路灯の設置 道路整備 屋外消火栓 道路美装化 住宅等修景整備助成	通路整備 住宅等修景整備助成	道路美装化 ごみ置き場整備 住宅等修景整備助成
平成26年度計画	平成27年度計画	平成28年度計画	平成29年度以降計画

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H8 ~ H25)			
	単独	補助	合計
国		146,066	146,066
県			
地方債			
辺地債			
過疎債			
合併特例債			
その他			
一般財源	164,116		164,116
計	164,116	146,066	310,182

	H 24年度 決算 (A)	H 25年度 計画 (B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	53,500	40,000	▲ 13,500	25% 減
補正予算額	-12,490		---	---
予算合計	41,010	40,000	▲ 1,010	2% 減
国庫補助金	13,355	20,000	6,645	50% 増
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	13,965	20,000	6,035	43% 増
支出合計	27,320	40,000	12,680	46% 増

単位:千円

事務事業コード	764117	事務事業名	街なみ環境整備事業(牧園・高千穂地区)	担当部	建設部
				担当課	都市計画課

区分	全体計画 (H 8 ~ H 25)			平成23年度までの 実施状況			平成24年度 (実績)			平成25年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	<ul style="list-style-type: none"> 丸尾地区ポケットパーク整備 2ヶ所 約1,100㎡ 屋外消火栓設置 4箇所 通路整備 丸尾地区 約100m 街路灯整備 166基 道路美化 市道2路線約1,080m ごみ置き場 3箇所 住宅等修景 41戸 			事業計画の策定 事業計画の見直し ポケットパーク整備 街路灯の設置 道路整備 屋外消火栓 道路美化 住宅等修景整備助成			通路整備 住宅等修景整備助成			道路美化 ごみ置き場整備 住宅等修景整備助成			
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費	6	6	12	6	6	12							
10 交際費													
11 需用費	513	125	638	513	125	638							
消耗品費	336	97	433	336	97	433							
燃料費	177	28	205	177	28	205							
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料	11,033	9,274	20,307	11,033	9,274	20,307							
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費	127,766	112,991	240,757	111,731	96,991	208,722	2,485	2,450	4,935	13,550	13,550	27,100	
16 原材料費													
17 公有財産購入費	116		116	116		116							
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金	23,699	23,670	47,369	6,344	6,315	12,659	10,905	10,905	21,810	6,450	6,450	12,900	
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金	983		983	408		408	575		575				
23 償還金・利息・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	164,116	146,066	310,182	130,151	112,711	242,862	13,965	13,355	27,320	20,000	20,000	40,000	
財源内訳	国		146,066	146,066		112,711	112,711		13,355	13,355		20,000	20,000
	県												
	地方債												
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債												
	その他												
一般財源	164,116		164,116	130,151		130,151	13,965		13,965	20,000		20,000	
計	164,116	146,066	310,182	130,151	112,711	242,862	13,965	13,355	27,320	20,000	20,000	40,000	
補助率	国	—			—			1/2			1/2		
	県	—			—			-			-		
補助基本額	—			—			26,710			40,000			

平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	53,500
補正予算	(12,490)
合計	41,010

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	(3月)
第3回		第6回			(12,490)

財務シート

<施設整備・設備整備・道路整備用>

事務事業コード	764117	事務事業名	街なみ環境整備事業(牧園・高千穂地区)	担当部	建設部
				担当課	都市計画課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この事業を推進することにより、良好な街なみが形成され、地域にあった景観を保全できる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地域住民と観光客の安全性や、地域の景観の確保等に繋がるため、公共の関与が妥当である。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	整備計画に基づき順調に進んでいる。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	良好な景観形成や地域の安全性確保に支障がある。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	仕様・工法等の見直しを随時行っており削減の余地はない。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	地域住民や関係者との協議等の主要な事業は正規職員が行う必要があり嘱託職員や委託はできないため、人件費の削減はできない。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	整備区域を設定し、住環境の整備を主に行う事業であることから受益者へ負担を求めることはできないが、整備後の施設維持管理は地域にお願いしている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市営駐車場から殿湯川沿いの遊歩道に通じる通路整備が完成したことにより、地域住民や来訪者が温泉・観光拠点である丸尾ゾーンを回遊できるようになり、また非常時、災害時の緊急避難路としても利用できるようになった。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

事務事業コード	764316	事務事業名	公園整備事業	担当部	建設部
				担当課	都市計画課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	都市整備G
施策名	1	生活基盤の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	7	公園・広場等の整備		内線番号	2881
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 22 年度 ~ 平成 年度
	款	8	土木費		
	項	5	都市計画費	根拠法令・条例等	都市公園法 緑の基本計画
	目	4	公園費		
コード	764316				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
市民から、交流やふれあいの場として身近に利用できる公園やレクリエーションなどを通じた健康増進の場として広く活用できる公園など多様なニーズの公園整備が求められている。 当課では、緑地の保全や緑化の推進に関して、その将来像、目標、施策などを定める「緑の基本計画」を策定していることから、この計画に基づき、計画的に公園整備を行う。	『緑の基本計画』に、コミュニティ広場(街区公園)の整備が計画されている地域から、早期着手に向けての地区要望や意見が寄せられている。	議会からも、早期着手に向けての地区要望や意見が寄せられている。

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 市民	日常のコミュニケーションや休息、スポーツレクリエーション、ふれあいの場、災害時の避難地として利用してもらう	ゆとりややすらぐ場が確保される
イ 公園	公園面積が増える	ゆとりややすらぐ場が確保される

全体計画 (H 22 ~)	平成23年度までの実施状況	平成24年度実績	平成25年度計画
○広瀬コミュニティ広場整備 ・広場整備工事 ・便所、休憩所設置工事 ○まきのはら運動公園 ・園路整備	○広瀬コミュニティ広場整備 ・設計委託(広場整備・便所) ・用地取得 ・広場整備工事(歩道・便所・広場等)	○広瀬コミュニティ広場整備 ・広場整備工事(芝舗装・駐車場等) ・休憩所、遊具設置工事 ・植栽 ※H23の繰越予算にて整備を行う	○まきのはら運動公園 ・園路整備 ・用地買収
平成26年度計画	平成27年度計画	平成28年度計画	平成29年度以降計画

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H 22 ~)			
	単独	補助	合計
国		43,860	43,860
県			
地方債	149,000		
辺地債			
過疎債			
合併特例債	149,000		149,000
その他			
一般財源	15,616		15,616
計	164,616	43,860	208,476

	H 24年度 決算 (A)	H 25年度 計画 (B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	24,312	32,715	8,403	35% 増
補正及び流用			---	---
予算合計	24,312	32,715	8,403	35% 増
国庫補助金				
県支出金				
地方債	23,000	27,400	4,400	19% 増
その他				
一般財源	1,290	5,315	4,025	312% 増
支出合計	24,290	32,715	8,425	35% 増

単位:千円

事務事業コード	764316	事務事業名	公園整備事業	担当部	建設部
				担当課	都市計画課

区分	全体計画 (H 22 ~)			平成23年度までの 実施状況			平成24年度 (実績)			平成25年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	○広瀬コミュニティ広場整備 ・広場整備工事 ・便所、休憩所設置工事 ○まきのほら運動公園 ・園路整備			○広瀬コミュニティ広場整備 ・設計委託(広場整備・便所) ・用地取得 ・広場整備工事(歩道・便所・広場等)			○広瀬コミュニティ広場整備 ・広場整備工事(芝舗装・駐車場等) ・休憩所、遊具設置工事 ・植栽 ※H23の繰越予算にて整備を行う			○まきのほら運動公園 ・園路整備 ・用地買収			
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費													
10 交際費													
11 需用費													
消耗品費													
燃料費													
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料	4,374	1,890	6,264	574	1,890	2,464				3,800		3,800	
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費	91,898	41,970	133,868	42,708	41,970	84,678	24,290		24,290	24,900		24,900	
16 原材料費													
17 公有財産購入費	67,663		67,663	63,648		63,648				4,015		4,015	
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金	681		681	681		681							
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金													
23 償還金利子・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	164,616	43,860	208,476	107,611	43,860	151,471	24,290		24,290	32,715		32,715	
財源内訳	国		43,860			43,860							
	県												
	地方債	149,000		149,000	98,600		98,600	23,000		23,000	27,400	27,400	
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債	149,000		149,000	98,600		98,600	23,000		23,000	27,400	27,400	
	その他												
一般財源	15,616		15,616	9,011		9,011	1,290		1,290	5,315		5,315	
計	164,616	43,860	208,476	107,611	43,860	151,471	24,290		24,290	32,715		32,715	
補助率	国	—			—			—			—		
	県	—			—			—			—		
補助基本額	—			—			—			—			

平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	24,312	第1回		第4回		第7回	
補正及び流用		第2回		第5回		流用	
合計	24,312	第3回		第6回			

財務シート

<施設整備・設備整備・道路整備用>

事務事業 コード	764316	事務 事業名	公園整備事業	担当部	建設部
				担当課	都市計画課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民にとって身近な公園を整備することにより、ゆとりと安らぎの場が確保できることとなり、上位施策(生活基盤の充実)に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市民に身近な公園の整備は採算性がない(利用料金が発生しない)ため、民間等がこのような公園を整備することはないため。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	平成23年度の完成予定であったが、用地取得に時間を要したことから、平成24年度完成した。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	『緑の基本計画』に基づき、地区民が身近に利用できる公園を配置計画のもと年次計画により実施するものであるため、廃止・休止した場合には、街区公園の配置の均衡が取れない。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	造成用土砂を他工事からの残土流用を行いコスト削減を図った。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業に関しては、最低限の職員数で担当している。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	本事業は、公園の少ない地区を対象とする事業であり、その他の公園の少ない地域については他事業(国庫補助事業等)で公園整備を進めているため、公平・公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	広瀬コミュニティ広場が完成し、日常のコミュニケーションや休息、スポーツレクリエーションなどのふれあいの場として広く活用できるようになった。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

事務事業コード	764210	事務事業名	まち交街路整備事業(国分中央)	担当部	建設部
				担当課	都市計画課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	都市整備G
施策名	2	交通体系の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		内線番号	2881
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 24 年度 ~ 平成 28 年度
	款	8	土木費		
	項	5	都市計画費	根拠法令・条例等	都市計画法 道路法 土地収用法 都市再生特別措置法
	目	3	街路事業費		
コード	764210				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
国分中心市街地の整備については、平成19年度から5ヶ年計画で作成した「都市再生整備計画(国分中央)」に基づき、都市計画道路や国分駅東口自転車駐車場などの整備を行ってきたところであるが、引き続き「都市再生整備計画(国分中央)2期」を作成し、国分中心市街地の活性化に向け整備を進めているところである。主な事業としては、平和通線、犬追馬場線などの骨格道路の整備や中心市街地内の道路の拡幅のほか、バリアフリー化やカラー舗装などの高質化の整備を行い、快適性、安全性、回遊性を高め、市街地の活性化を図る。	都市計画決定より長期の年数が経過しているため、早期の事業完成を地元住民から要望されている。特に道路が狭く、歩行者の通行や車の離合がしにくいことや都市計画法第53条の規定により建築制限が行われていることもあり地権者からは早期の着手が要望されている。	特になし。

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 道路利用者(車両及び歩行者)	安全かつスムーズに通行できる。	安全・快適に移動ができる
イ 事業用地の地権者、建物等所有者及び借家人など利害関係人	地権者、利害関係人の理解協力を得ながら事業用地として必要な土地を提供してもらう。	安全・快適に移動ができる

全体計画 (H 24 ~ H 28)	平成23年度までの実施状況	平成24年度実績	平成25年度計画
平和通線 犬追馬場線他市街地内の道路整備	都市再生整備計画(国分中央)の1期計画(H19~H23)が完了	測量等業務委託 3件 用地買収 1件 補償 1件 照明設置工事	測量等業務委託 3件 用地補償 工事 ※H24からの繰越含む
平成26年度計画	平成27年度計画	平成28年度計画	平成29年度以降計画
建物調査業務委託 用地補償 工事	建物調査業務委託 用地補償 工事	補償 工事	

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H 24 ~ H 28)			
	単独	補助	合計
国		429,100	429,100
県			
地方債		597,400	
辺地債			
過疎債			
合併特例債		597,400	597,400
その他			
一般財源	950	46,250	47,200
計	950	1,072,750	1,073,700

	H 24年度 決算 (A)	H 25年度 計画 (B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	70,700	130,379	59,679	84% 増
補正及び流用	-8,902		---	---
予算合計	61,798	130,379	68,581	111% 増
国庫補助金	9,148	52,152	43,004	470% 増
県支出金				
地方債	6,800	66,600	59,800	879% 増
その他				
一般財源	7,873	11,627	3,754	48% 増
支出合計	23,821	130,379	106,558	447% 増

単位:千円

事務事業コード	764210	事務事業名	まち交街路整備事業(国分中央)	担当部	建設部
				担当課	都市計画課

区分	全体計画 (H 24 ~ H 28)			平成23年度までの 実施状況			平成24年度 (実績)			平成25年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	平和通線 犬追馬場線他市街地内の道路整備			都市再生整備計画(国分中央)の1 期計画(H19~H23)が完了			測量等業務委託 3件 用地買収 1件 補償 1件 照明設置工事			測量等業務委託 3件 用地補償 工事 ※H24からの繰越含む			
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費													
10 交際費													
11 需用費													
消耗品費													
燃料費													
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料	946	119,405	120,351				946	8,405	9,351		9,500	9,500	
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費	1	268,360	268,361				1	9,730	9,731		20,130	20,130	
16 原材料費													
17 公有財産購入費	2	212,776	212,778				1	4,304	4,305	1	52,972	52,973	
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金		9,000	9,000								1,000	1,000	
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金	1	463,209	463,210				1	433	434		46,776	46,776	
23 償還金・利息・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	950	1,072,750	1,073,700				949	22,872	23,821	1	130,378	130,379	
財源内訳	国		429,100	429,100				9,148	9,148		52,152	52,152	
	県												
	地方債		597,400	597,400				6,800	6,800		66,600	66,600	
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債		597,400	597,400				6,800	6,800		66,600	66,600	
	その他												
一般財源	950	46,250	47,200				949	6,924	7,873	1	11,626	11,627	
計	950	1,072,750	1,073,700				949	22,872	23,821	1	130,378	130,379	
補助率	国	—			—			—					
	県	—			—			—					
補助基本額													

平成24年度予算の状況

当初予算	70,700
補正予算	(8,902)
合計	61,798

<補正予算内訳>

第1回		第4回		第7回	
第2回		第5回		第8回	(8,902)
第3回		第6回			

単位:千円

単位:千円

事務事業 コード	764210	事務 事業名	まち交街路整備事業(国分中央)	担当部	建設部
				担当課	都市計画課

区 分	平成26年度 (計画)			平成27年度 (計画)			平成28年度 (計画)			平成29年度以降 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量	建物調査業務委託 用地補償 工事			建物調査業務委託 用地補償 工事			補償 工事					
1 報 酬												
2 給 料												
3 職員手当等												
4 共 済 費												
7 賃 金												
8 報 償 費												
9 旅 費												
10 交 際 費												
11 需 用 費												
消耗品費												
燃 料 費												
食 料 費												
印刷製本費												
光熱水費												
修繕料												
12 役 務 費												
通信運搬費												
広 告 料												
手 数 料												
保 険 料												
13 委 託 料		12,000	12,000		89,500	89,500						
14 使用料及び賃借料												
15 工事請負費		61,000	61,000		47,500	47,500		130,000	130,000			
16 原 材 料 費												
17 公有財産購入費		88,000	88,000		67,500	67,500						
18 備品購入費												
19 負担金補助・交付金		3,000	3,000		1,000	1,000		4,000	4,000			
20 扶 助 費												
21 貸 付 金												
22 補償補填及び賠償金		167,500	167,500		247,500	247,500		1,000	1,000			
23 償還金利子・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積 立 金												
26 寄 附 金												
27 公 課 費												
28 繰 出 金												
計		331,500	331,500		453,000	453,000		135,000	135,000			
財源内訳	国		132,600	132,600		181,200	181,200		54,000	54,000		
	県											
	地方債		188,900	188,900		258,200	258,200		76,900	76,900		
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債		188,900	188,900		258,200	258,200		76,900	76,900		
	その他											
	一般財源		10,000	10,000		13,600	13,600		4,100	4,100		
計		331,500	331,500		453,000	453,000		135,000	135,000			
補助率	国											
	県											
補助基本額												

事務事業コード	764210	事務事業名	まち交街路整備事業(国分中央)	担当部	建設部
				担当課	都市計画課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	車道や歩道を確保することにより、市民や道路利用者が安全・快適に移動することができる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市道整備は、市の義務であり、通行車両、歩行者の安全を確保する観点からも妥当である。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	都市再生整備計画(国分中央)の1期計画が平成23年度で完了し、平成24年度から2期計画を実施している。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	事業を休止・廃止すると、安全・快適な通行ができない部分が残る。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト削減を図っている。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事監理監督業務を勤務時間内に対応することで、人件費の抑制を行っている。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	不特定多数の人が道路を利用するので、公平公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	都市再生整備計画の1期計画が平成23年度に完了したことから、2期計画を作成し、平成24年度から事業に着手することができた。特に、都市計画道路の平和通線については、未整備区間が残り240mとなり、交通量も増加していることから、早急に整備する必要がある。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

事務事業コード	764273	事務事業名	街路整備事業	担当部	建設部	
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		担当課	都市計画課	
施策名	2	交通体系の充実		グループ	都市整備G	
基本事業名	1	道路ネットワークの構築		電話番号	45-5111	
				内線番号	2881	
予算科目	会計	一般会計				
	款	8 土木費	項	5 都市計画費	目	3 街路事業費
				コード	764273	

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

単位：千円

③対象 (誰、何を対象しているのか)	④意図 (対象をどうしたいのか)	⑤結果 (どんな結果に結びつけるのか)
市民 街路 自動車の利用者・歩行者	通行の安全が確保できる。 快適に移動できるようになる。	安全・快適に移動ができる

番号	路線名等	平成24年度		平成25年度		完了予定	備考
		区分	実績	区分	計画		
1	宮内線	継続	歩道整備 L=526m				
		隼人	29,480				
2	日当山線	継続	測量設計委託 用地調査委託	継続	用地調査委託 用地補償一式	H 28	H24→H25 繰越 42,871千円
		隼人	12,131	隼人	132,871		
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

<地区別>

継続 = 2 新規 = 0 継続 = 1 新規 = 0

		H 24	H 25	<全体事業費>	平成24年度決算(A)	平成25年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
国分				事業費	41,611	132,871	91,260
溝辺				事務費			0
横川				合計	2路線 41,611	1路線 132,871	▲ 1 路線 91,260
牧園				<財源内訳>			
霧島					平成24年度決算(A)	平成25年度計画(B)	前年度比較(B)-(A)
隼人	2	1		国庫補助金	6,672	73,078	66,406
福山				県支出金			0
				地方債	33,000	56,700	23,700
				その他			0
				一般財源	1,939	3,093	1,154
				合計	41,611	132,871	91,260

(2)事務事業に対する住民意見等

① 誰からどんな意見や要望が寄せられているか？	② この事務事業に対する議会から出された意見
日当山線の道路拡幅について、富隈地区自治公民館や鹿児島工業高等学校より、早期着工、早期完成の要望が寄せられている。	宮内線の歩道について、景観に配慮した歩道整備が必要であるとの意見が出された。

事務事業 コード	764273	事務 事業名	街路整備事業	担当部	建設部
				担当課	都市計画課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	車道や歩道を確保することにより、市民や道路利用者が安全・快適に移動することができる。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	公共施設の整備は、市の義務であり、幹線道路を整備する事は妥当である。
B 有効性評価	③ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	事業を休止・廃止すると、安全・快適な通行ができない部分が残る。
C 効率性評価	④ 事業費の削減余地 ・仕様や工法の適正化等により事業費を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	設計段階において、工法の詳細検討を実施して、よりコスト削減を図っている。
	⑤ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	事業に関しては最低限の職員数で担当している。また、可能な限り用地交渉、工事管理監督業務を勤務時間内に対応することで、人件費の抑制を行っている。
D 公平性評価	⑥ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	不特定多数の人が道路を利用するので、公平公正である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	宮内線については、バリアフリーや景観に配慮した歩車道の整備が完成し、通行の安全確保や快適な移動ができるようになった。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率性④⑤の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑥の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	